

報 道 関 係 各 位

2024年10月23日
大成ユーレック株式会社
NIPPON EXPRESS ホールディングス株式会社
日本貨物鉄道株式会社

大成ユーレック、日本通運・JR貨物と連携し、新たな鉄道用貨物コンテナでの鉄道輸送を開始 ～建設現場や物流の効率化を推進し持続可能な社会の実現に取り組む～

大成ユーレック株式会社（社長：青木卓 以下、大成ユーレック）は、NIPPON EXPRESS ホールディングス株式会社（社長：堀切智）のグループ会社である日本通運株式会社（社長：竹添進二郎 以下、日本通運）、日本貨物鉄道株式会社（社長：犬飼新 以下、JR貨物）と連携し、クレーンによる積み下ろし作業が可能なオープントップ仕様の20ft 鉄道用貨物コンテナを開発しました。屋根の開閉が可能な20ft コンテナは、国内の海上・鉄道貨物兼用として初の試みとなります。



大成ユーレックと日本通運とJR貨物は2023年6月より鉄道貨物を利用したプレキャストコンクリート(*)部材の輸送に取り組んでいます。

埼玉県川越市の大成ユーレックのプレキャストコンクリート工場から各地の建設現場まで、トレーラーによる運搬から鉄道にモーダルシフトすることによりCO2排出量を80%以上削減し、中長距離ドライバーの運行時間の短縮に効果をあげてきました。本取り組みは2024年の一般社団法人日本物流団体連合会主催の物流環境大賞において、3社共同で低炭素物流推進賞を受賞しています。

この度、建設現場での作業効率化を目的に、クレーンによる積み下ろし作業が可能なオープントップ仕様の20ft 鉄道用貨物コンテナを開発しました。

本コンテナは、大成建設グループの作業所仮囲いをイメージしたデザインとし、同社の社名とエコを組み合わせた造語「TAISEI U-LECo」のロゴを表示して環境活動推進を可視化しています。10月4日には、集合住宅の階段部材を積載し、日本通運・JR貨物の手配により川越工場（新座貨物ターミナル駅）から愛知県一宮市（名古屋貨物ターミナル駅）へ向けた鉄道輸送を開始しました。

今後も3社は、建設現場や物流の効率化、環境負荷の低減を目的とした取り組みを積極的に進め、持続可能な社会の実現を目指してまいります。

(*)プレキャストコンクリート：予め工場で作られたコンクリートのこと。輸送時間を加味しても、現地で作るより施工時間が短く済むメリットがある。